

農漁村地域の良さを生かし、健康で住みよいふるさとづくり (平成24年度認定)



伊江村生活研究会は、昭和33年に発足した。以降、農漁村の婦人達が知恵を集結し、地域の生活改善を担い、島の伝統食文化の継承や地域資源活用による特産品開発、食育教育など先輩方の技術を受け継ぎ、時代に応じた課題に取り組み、活動を行っている。

昭和60年に、それまでの活動をまとめ村民に活用して頂く趣旨のもと「ふるさとの味」を発刊し、平成20年度には村民の要望もあり本会の50周年記念誌として再発刊に至った。発刊の過程での聞きとりを通じて伝統食・行事食の掘り起しが集中的に行われ、島野菜を活用した新しい料理も加えた様々な料理のレシピが掲載されている。

また、島の特産物を活かした加工品の開発に、非常に積極的に取り組んでおり、伊江島物産センターに加えインターネットでも販売を行っている。手づくりの加工品は多様なラインアップを誇り、民泊をはじめとした観光客に非常に人気があり、売り上げも年々増加している。その他にも、郷土料理学習会の開催、視察研修や勉強会への参加等、活動意欲が非常に高い。

このように、地域特有の食文化を活かした食育や交流、地域農業の振興や地域活性化に寄与している等、【農漁村地域の良さを生かし、健康で住みよいふるさとづくり】に取り組んでいる。



伊江島物産センター



紅うもかん



あんこもち



ふるふる



あおさとり



郷土料理学習会